

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「グローバル新成長国オープン(愛称 グローバルネクスト)」は、このたび、第101期～第106期の決算を行いました。本ファンドは、新成長国(先進国を除いた国および地域)の株式および債券に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行っております。今期の運用経過等について、以下のとおりご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

第106期末(2016年7月5日)		第101期～第106期	
基準価額	4,697円	騰落率	-3.34%
純資産総額	4,247百万円	分配金合計	280円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

本ファンドは、約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

〈閲覧方法〉

右記URLにアクセス⇒「ファンドラインナップ」より本ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



交付運用報告書

グローバル 新成長国オープン

愛称：グローバルネクスト

追加型投信／海外／資産複合

第101期(決算日2016年2月5日)
第102期(決算日2016年3月7日)
第103期(決算日2016年4月5日)
第104期(決算日2016年5月6日)
第105期(決算日2016年6月6日)
第106期(決算日2016年7月5日)

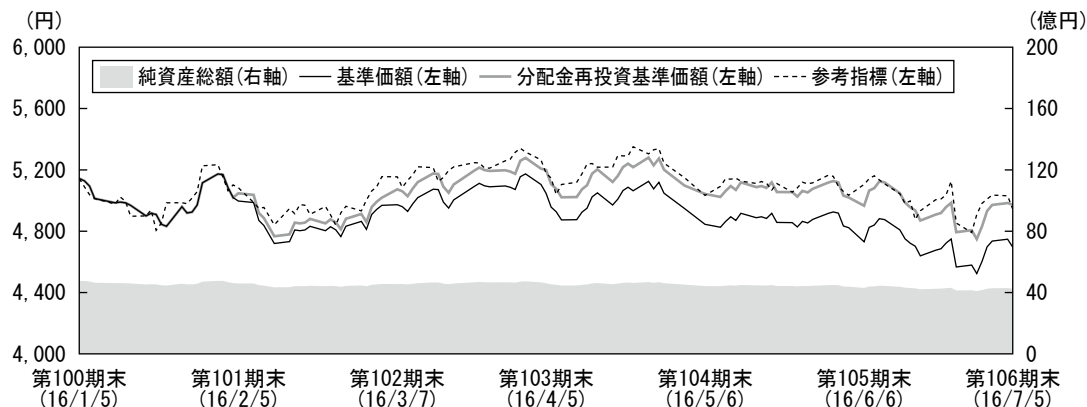
作成対象期間：2016年1月6日～2016年7月5日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー
お問合せ先：03-6437-6000(代表)
受付時間：営業日の午前9時～午後5時 | www.gsam.co.jp

運用経過

■ 基準価額等の推移について（2016年1月6日～2016年7月5日）



第101期首：5,144円

第106期末：4,697円

（当作成期中にお支払いした分配金：280円）

騰落率：－3.34%（分配金再投資ベース）

- （注1）参考指標は、MSC I エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）20%、J Pモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）60%、J Pモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）20%を委託者が合成した指数であり、投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しています。
- （注2）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- （注3）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- （注4）分配金再投資基準価額、参考指標は、当作成期（以下、「当期」といいます。）の期首の基準価額を起点として指数化しています。

■ 基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の5,144円から447円下落し、期末には4,697円となりました。

上昇要因

現地通貨建て新成長国債券市場や新成長国株式市場（いずれも現地通貨ベース）、米ドル建て新成長国債券市場（米ドルベース）が上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

新成長国通貨および米ドルが対円で大幅に下落したこと、分配金をお支払いしたことなどが基準価額の下落要因となりました。

■ 組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
新成長国株式ポートフォリオ* ¹	-7.24%
新成長国債券ポートフォリオ（現地通貨建て）* ²	-0.96%
新成長国債券ポートフォリオ（米ドル建て）* ³	-4.76%

（注）純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

正式名称はそれぞれ以下の通りです。

ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V.

*¹ ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ

*² ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ

*³ ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ

■ 1万口当たりの費用明細

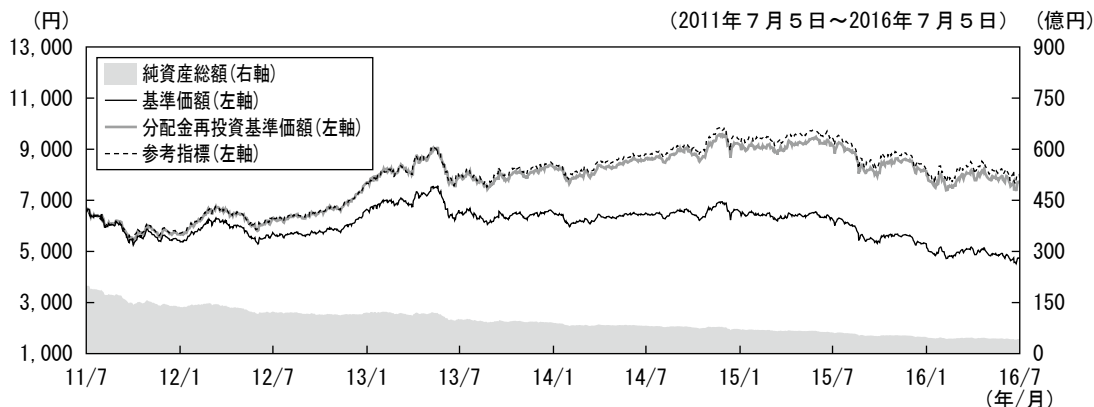
項目	第101期～第106期		項目の概要
	2016年1月6日～2016年7月5日		
	金額	比率	
信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	26円 （ 1） (23) (1)	0.516% (0.027) (0.473) (0.016)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	2 （ 0） （ 0） （ 1）	0.033 (0.009) (0.002) (0.023)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等
合計	28	0.549	
期中の平均基準価額は4,967円です。			

（注1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

（注2）金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

（注3）比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額、参考指標は、2011年7月5日の基準価額を起点として指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

	2011/7/5 決算日	2012/7/5 決算日	2013/7/5 決算日	2014/7/7 決算日	2015/7/6 決算日	2016/7/5 決算日
基準価額（分配落）（円）	6,594	5,698	6,498	6,464	6,212	4,697
期間分配金合計（税引前）（円）	—	600	600	600	600	580
分配金再投資基準価額騰落率	—	−4.15%	25.26%	9.36%	5.42%	−15.50%
参考指標騰落率	—	−3.53%	25.66%	10.14%	6.69%	−16.07%
参考指標（新成長国株式）騰落率	—	−16.88%	24.29%	19.90%	9.32%	−25.21%
参考指標（現地通貨建て新成長国債券）騰落率	—	−3.25%	25.69%	6.25%	1.22%	−15.53%
参考指標（米ドル建て新成長国債券）騰落率	—	9.26%	26.59%	12.41%	21.35%	−8.49%
純資産総額（百万円）	19,856	12,297	10,045	8,169	6,173	4,247

(注) 参考指標を構成する各資産の指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しており、下記のインデックスを使用しています。

新成長国株式：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）

現地通貨建て新成長国債券：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）

米ドル建て新成長国債券：JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ダイバーシファイド（円換算ベース）

■ 投資環境について

<新成長国株式市場>

当期の新成長国株式市場（現地通貨ベース）は上昇しました。期初は、中国の経済指標悪化や人民元安などを受けた株式市場の急落や、原油価格の下落などを背景に軟調な推移となりました。2月中旬以降は、サウジアラビアなど4カ国が増産凍結で合意したことなどを背景に原油価格が反発したことや、米国の利上げ観測が後退したことなどを受けて投資家のリスク選好度が回復し、大幅に上昇しました。期の終盤は、米国の利上げ観測や世界経済の見通しによって投資家心理が左右されるなか、一進一退の推移となり、期全体では上昇する結果となりました。

<現地通貨建て新成長国債券市場>

当期中の現地通貨建て新成長国債券市場（現地通貨ベース）は上昇しました。期の前半は、原油価格の上昇やECB（欧州中央銀行）の追加緩和期待、米国の利上げ観測の後退などを背景に投資家のリスク選好度が高まったことなどから、新成長国債券市場は概ね上昇基調で推移しました。期の後半に入ると、米国の利上げ観測や世界経済の見通しによって投資家心理が左右されるなか、一進一退の推移となりましたが、期末にかけては、5月の米雇用統計における非農業部門雇用者数が市場予想を下回り、米国の利上げ観測が後退したことや、英国国民投票がEU（欧州連合）離脱に決すると、英国およびECBによる追加緩和期待の高まりを受け投資家心理が改善したことなどを背景に上昇し、期全体でも上昇する結果となりました。国別では、ブラジル、ペルーなどが相対的に大きく上昇した一方で、ポーランド、ハンガリーなどが出遅れる展開となりました。ペルーについては、インフレ率の低下などを背景に同国中央銀行が市場予想に反して政策金利を据え置いたことや、クチンスキ氏が大統領選に勝利したことで市場重視の政策が維持されるとの期待などがプラス材料となりました。ポーランドは、同国の財政規律悪化への懸念などがマイナス材料となりました。

<新成長国通貨市場>

当期中の新成長国通貨市場は、対円で概ね下落する結果となりました。通貨別では、メキシコ・ペソやポーランド・ズロチなどが相対的に大きく下落した一方、ブラジル・レアルは上昇しました。メキシコ・ペソについては、米国の利上げ観測が高まった局面で下落したほか、国営企業の多額の債務に対する懸念などがマイナス材料となりました。ブラジル・レアルは、原油価格が上昇したことや、ルセフ大統領の弾劾裁判が行われることが決定し、政治情勢の改善や構造改革への期待が高まったことなどがプラス材料となりました。

<米ドル建て新成長国債券市場>

当期の米ドル建て新成長国債券市場（米ドルベース）は、米国債の利回りが低下（価格は上昇）し、スプレッド（米国債に対する上乗せ金利）も縮小したことから、トータル・リターンはプラスとなりました。期初から2月上旬にかけては、中国経済に対する懸念や、原油価格の下落などを背景に投資家のリスク選好度が低下し、スプレッドは概ね拡大基調で推移しました。2月中旬以降は、原油価格が反発したことや、FOMC（米連邦公開市場委員会）声明において利上げ見通しが下方修正されたことなどを受けて投資家のリスク選好度が回復し、スプレッドは概ね縮小基調で推移しました。期の後半は、概ね一進一退の推移となり、期を通じては縮小する結果となりました。国別では、ブラジルやコロンビアなどが相対的に大きく上昇した一方で、リトアニアやポーランドなどが出遅れる展開となりました。ブラジルは、原油価格が上昇したことや、ルセフ大統領の弾劾裁判が行われることが決定し、政治情勢の改善や構造改革への期待が高まったことなどから上昇しました。ポーランドは、経済的なつながりの強い欧州において、英国のEU離脱によって今後の経済成長に対する懸念が高まったことなどから相対的に小幅な上昇にとどまりました。

■ ポートフォリオについて ＜本ファンド＞

新成長国の株式および債券への投資を通じて、信託財産の長期的な成長をめざして運用を行いました。ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ、ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオおよびゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオを主要投資対象とし、資産配分は、新成長国株式20%、現地通貨建て新成長国債券60%、米ドル建て新成長国債券20%を基本としました。

＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ＞

新成長国市場の幅広い地域の株式に分散投資を行います。新成長国市場は、経済規模拡大によって、更なる発展および拡大の余地が期待できる市場と考えられます。同市場では、先進国との輸出を中心とした取引による外需と域内の巨大な人口を背景とした内需の両輪による高い成長力が期待される企業が多く見られます。当期も引き続き新成長国の株式に投資し、株式の組入比率を高位に保ちながら、長期的なリターンを享受することをめざしました。期中、国別ではペルーのオーバーウェイト、セクター別では資本財・サービスセクターおよび情報技術セクターのアンダーウェイト、ブラジルやロシアにおける銘柄選択などがプラス寄与となりました。一方、国別では南アフリカのアンダーウェイト、セクター別ではエネルギーセクターおよび素材セクターのアンダーウェイト、韓国やインドにおける銘柄選択などがマイナス寄与となりました。

＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ＞

期首においてはブラジルやポーランドなどの現地通貨建て債券のほか、メキシコ・ペソやロシア・ルーブルなどの通貨に対して相対的に強気のポジションを取った一方で、マレーシアや中国などの現地通貨建て債券のほか、中国・人民元や台湾ドルなどの通貨に対して相対的に弱気のポジションを取りました。期末においてはメキシコやブラジルなどの現地通貨建て債券のほか、メキシコ・ペソやアルゼンチン・ペソなどの通貨に対して相対的に強気のポジションを取った一方で、マレーシアやハンガリーなどの現地通貨建て債券のほか、台湾ドルやシンガポール・ドルなどの通貨に対して相対的に弱気のポジションを取りました。

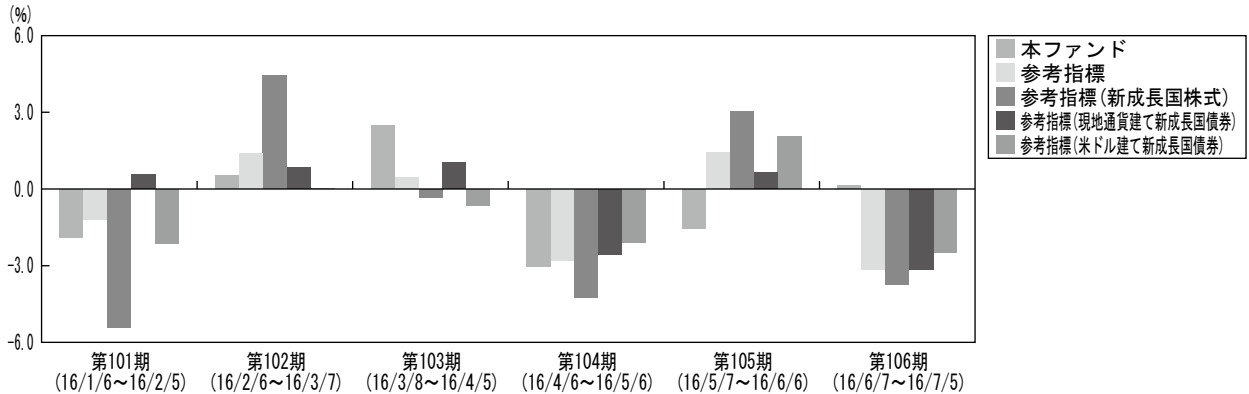
＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ＞

期首においてはドミニカ共和国やインドネシアなどを相対的に強気のポジションとする一方で、中国やフィリピンなどを相対的に弱気のポジションとしました。期末においてもドミニカ共和国やインドネシアなどを相対的に強気のポジションとする一方で、中国やフィリピンなどを相対的に弱気のポジションとしました。

■ ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、本ファンドの基準価額と参考指標の騰落率の対比です。

<当期の基準価額と参考指標の対比（騰落率）>



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は-3.34%となった一方、参考指標のパフォーマンスは-3.87%となりました。

■ 分配金について

収益分配金（1万口当たり、税引前）については、分配方針および基準価額の水準などを勘案し、第101期から第104期は各50円、第105期から第106期は各40円としました。収益分配金に充てなかった収益については、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

<分配原資の内訳>

(単位：円・％、1万口当たり・税引前)

項目	第101期	第102期	第103期	第104期	第105期	第106期
	2016年1月6日 ～2016年2月5日	2016年2月6日 ～2016年3月7日	2016年3月8日 ～2016年4月5日	2016年4月6日 ～2016年5月6日	2016年5月7日 ～2016年6月6日	2016年6月7日 ～2016年7月5日
当期分配金	50	50	50	50	40	40
（対基準価額比率）	0.991	0.995	0.981	1.021	0.838	0.844
当期の収益	50	50	50	50	40	40
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,693	1,697	1,702	1,702	1,716	1,730

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針について

<本ファンド>

今後も引き続き新成長国市場全体の収益機会の追求を目的として、投資信託証券を通じて新成長国の株式および債券に投資し、基本資産配分に沿った運用を行います。

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ>

新成長国は引き続き先進国よりも高い成長率を維持し、世界経済において重要な役割を果たすと思われます。新成長国の世界経済における重要度が増すとともに、相対的に高い経済成長率は企業収益を成長させ、中長期的に株式市場にもより高いリターンをもたらすと考えます。一方、足元では、新成長国全体が中国経済の減速、米ドル高といった不透明なマクロ経済環境に直面しているなか、各国のファンダメンタルズ（経済の基礎的諸条件）や政治動向などを見極めることがより重要と考えています。当社では引き続き、相対的に外需減速の影響が小さく、新成長国の強い内需の恩恵を受ける銘柄を選好します。新成長国、特にBRICs諸国における一人当たりの所得の著しい増加は、新成長国の経済発展を牽引する重要な要素であり、消費の拡大と経済の発展をもたらします。新成長国企業の成長ポテンシャルを勘案すると、新成長国株式市場は魅力的なバリュエーション（価格評価）水準にあると考えます。英国のEU離脱による新成長国市場への影響に関して、新成長国企業の売上全体に占める欧州の割合は大きくないものの、投資家のリスク回避姿勢が強まることによる影響は考えられ、その度合いは国および企業ごとに濃淡が生じると考えられます。ポートフォリオの運用に関しては、今後、個別銘柄に対する影響を注視しながら、ポートフォリオのバランスを考慮し、慎重に運用を行います。今後も、新成長国の主に株式および株式関連証券に投資することにより、信託財産の長期的な成長をめざします。

＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオ＞

英国のEU離脱、ユーロ圏および日本の経済情勢などに鑑みると、金利水準が正常化するには相応の期間を要すると見えています。米国については、分野によって軟調な経済指標が見られるなか、2016年も利上げペースが加速することはないものと考えています。このようななか各国ファンダメンタルズ（経済の基礎的諸条件）を精査しつつ、ポジションを構築することが重要と考えます。当社では、新成長国通貨についてはメキシコ・ペソやアルゼンチン・ペソなどを強気に見る一方、台湾ドルやシンガポール・ドルなどを弱気に見ています。メキシコ・ペソについては、バリュエーションに割安感が見られることに加えて、好調な米国経済による恩恵が期待されることや構造改革の推進、豊富な外貨準備などがプラス材料となるとの見方から、強気に見ています。台湾ドルについては、経済成長の減速が懸念される中国と経済的なつながりが強いことから弱気に見ています。現地通貨建て債券については、ブラジルやメキシコなどを強気に見る一方、マレーシアやハンガリーなどを弱気に見ています。ブラジルについては、財政健全化に向けた動きやインフレ率の低下傾向がプラス材料となると見えています。一方、マレーシアについては、政治状況の改善などプラス材料も見られますが、バリュエーションが割高と見えています。

今後も引き続き運用の基本方針に基づいて運用を行います。

＜ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケッツ・デット・ポートフォリオ＞

引き続き各国のファンダメンタルズや政治動向を背景に国別パフォーマンスのばらつきが拡大する可能性が高いと考えています。また、貿易や資金フロー、金融環境の変化などの英国のEU離脱による影響について警戒しつつ、商品市場の動向、中国経済の構造転換、米国経済の改善などが新成長国に与える影響を国別に見極めることが重要と考えます。ポートフォリオについては、ドミニカ共和国、インドネシア、ブラジルなどを強気に見る一方、フィリピン、中国などを弱気に見ています。ドミニカ共和国については、GDP（国内総生産）比での公的債務比率が低いこと、財政収支や経常収支の改善が進んでいることを評価し、強気に見ています。フィリピンについては、ファンダメンタルズは概ね良好ですが、バリュエーションが割高であることなどから、弱気に見ています。

今後も引き続き運用の基本方針に基づいて運用を行います。

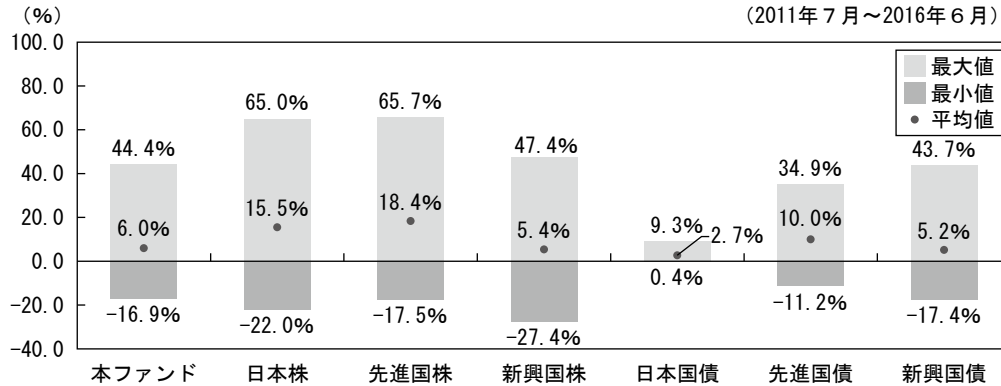
（上記見通しは2016年7月5日現在のものであり、今後見通しは変更されることもあります。）

本ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合								
信託期間	原則として無期限								
運用方針	新成長国の株式を主要投資対象とする投資信託証券、新成長国の債券を主要投資対象とする投資信託証券への投資を通じて信託財産の長期的な成長をめざして運用を行います。								
主要投資対象	<table> <tr> <td>本ファンド</td><td> 以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ ②ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ ③ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ </td></tr> <tr> <td>指定投資信託証券①</td><td>エマージング諸国の主に株式および株式関連証券</td></tr> <tr> <td>指定投資信託証券②</td><td>エマージング諸国の主に現地通貨建て債券</td></tr> <tr> <td>指定投資信託証券③</td><td>エマージング諸国の主に米ドル建て債券</td></tr> </table>	本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ ②ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ ③ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ	指定投資信託証券①	エマージング諸国の主に株式および株式関連証券	指定投資信託証券②	エマージング諸国の主に現地通貨建て債券	指定投資信託証券③	エマージング諸国の主に米ドル建て債券
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S. I. C. A. V. ①ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ ②ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ ③ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ								
指定投資信託証券①	エマージング諸国の主に株式および株式関連証券								
指定投資信託証券②	エマージング諸国の主に現地通貨建て債券								
指定投資信託証券③	エマージング諸国の主に米ドル建て債券								
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とし、株式への直接投資は行いません。 ③実質的に保有する各資産クラスの投資比率は、新成長国の株式：20%、新成長国の債券：80%（現地通貨建て債券：60%、米ドル建て債券：20%）を基本とします。								
分配方針	原則として毎計算期末（毎月5日。休業日の場合は翌営業日。）に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益（評価損益を含みます。）等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。								

(参考情報)

■ 本ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



○上記は、2011年7月から2016年6月の5年間における1年騰落率の平均値・最大値・最小値を、本ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

○各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

- ・海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。
- ・全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。
- ・本ファンドの騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。
- ・騰落率は当期末の直近月末から60ヵ月遡った算出結果であり、本ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

本ファンドのデータ

■ 本ファンドの組入資産の内容（2016年7月5日現在）

○組入れファンド

（組入銘柄数：3銘柄）

ファンド名	比率
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ	19.9%
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	59.9%
ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ	19.5%

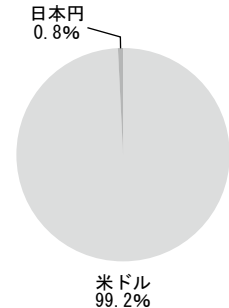
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

■ 純資産等

項目	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末	第105期末	第106期末
	2016年2月5日	2016年3月7日	2016年4月5日	2016年5月6日	2016年6月6日	2016年7月5日
純資産総額	4,594,243,635円	4,560,498,584円	4,608,342,748円	4,420,930,537円	4,300,475,678円	4,247,755,059円
受益権総口数	9,193,409,300口	9,169,873,435口	9,131,065,735口	9,124,569,758口	9,090,453,012口	9,043,087,784口
1万口当たり基準価額	4,997円	4,973円	5,047円	4,845円	4,731円	4,697円

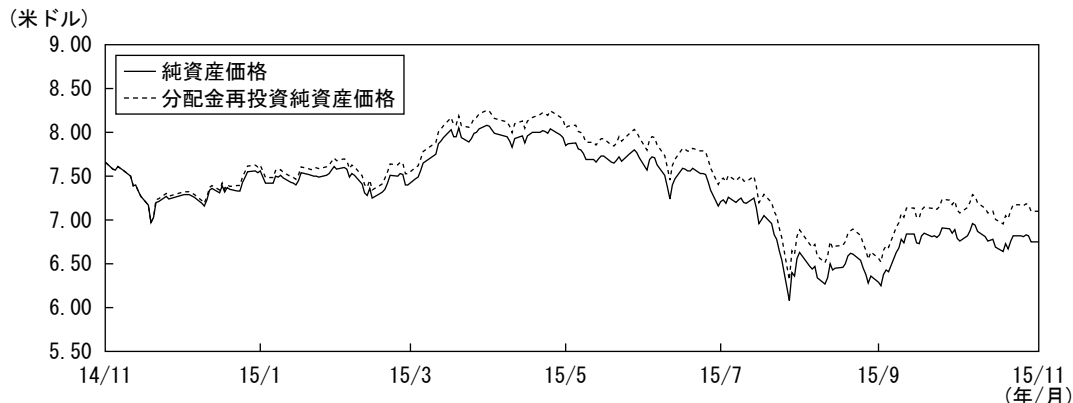
（注）当作成期首元本額は9,249,170,026円、当作成期間（第101期～第106期）中において、追加設定元本額は167,578,884円、同解約元本額は373,661,126円です。

■ 組入上位ファンドの概要

<ゴールドマン・サックス・エマーシング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ> (2015年11月30日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回(毎年11月末)です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年11月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について(2014年12月1日～2015年11月30日)



(注1) 分配金再投資純資産価格は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資純資産価格は、2014年11月28日の純資産価格を起点として指数化しています。

○費用明細(単位: 米ドル)

費用	
当座借越支払利息	117
投資顧問報酬	1,651,410
保管費用	122,445
管理事務代行報酬	76,014
販売報酬およびサービシング報酬	46,789
名義書換事務代行報酬	53,461
年次税	29,673
監査報酬	19,431
管理会社報酬	26,949
取締役報酬	1,100
弁護士報酬	25,732
保険費用	7,470
印刷費用	14,103
出版費用	2,648
税務報告報酬	43,487
支払代理人報酬	14,053
規制報告報酬	14,688
その他費用	71,769
	2,221,339
投資顧問報酬調整額	(3)
固定報酬のクラスにかかる追加投資顧問報酬	25,563
費用合計	2,246,899

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年12月1日から2015年11月30日までのものです。

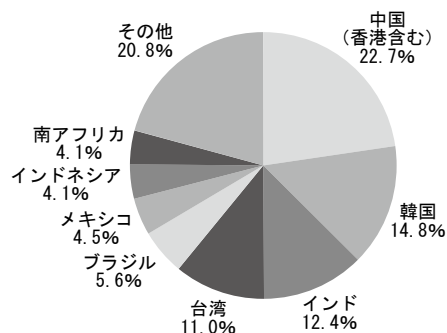
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○組入上位10銘柄

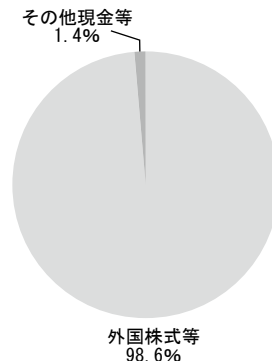
(組入銘柄数：145銘柄)

	銘柄	国	比率
1	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	3.6%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾	2.8%
3	ISHARES MSCI SOUTH KOREA CAP	韓国	2.8%
4	ISHARES CHINA LARGE-CAP ETF	中国	2.5%
5	ISHARES MSCI TAIWAN ETF	台湾	2.2%
6	NONGSHIM CO LTD	韓国	2.1%
7	HONG KONG EXCHANGES & CLEARING	香港	2.0%
8	BANK CENTRAL ASIA	インドネシア	1.9%
9	PC HOME ONLINE INC	台湾	1.9%
10	UNIFIN FINANCIERA SAPI DE CV	メキシコ	1.8%

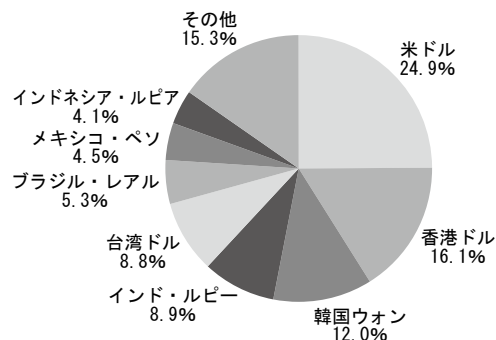
○国別配分



○資産別配分



○通貨別配分



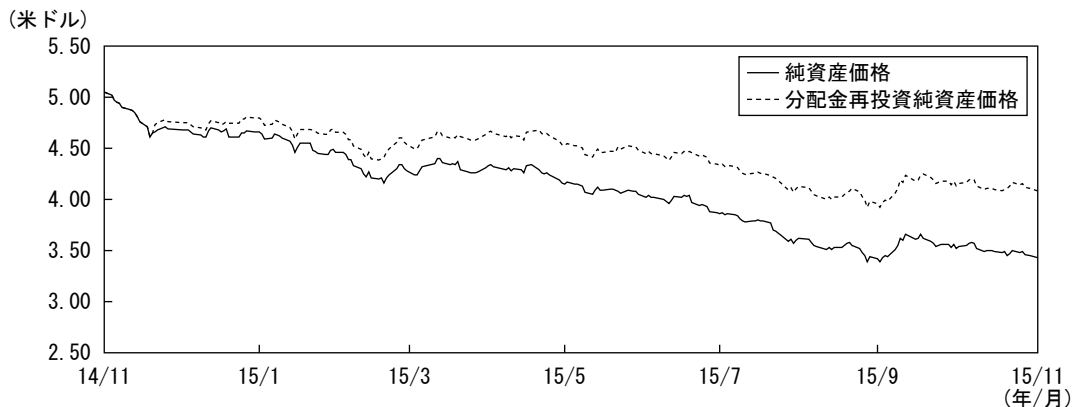
(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックス・エマーGING・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ> (2015年11月30日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回（毎年11月末）です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年11月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について（2014年12月1日～2015年11月30日）



(注1) 分配金再投資純資産価格は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資純資産価格は、2014年11月28日の純資産価格を起点として指数化しています。

○費用明細（単位：米ドル）

費用	
当座借越支払利息	846
投資顧問報酬	14,240,122
保管費用	1,000,178
管理事務代行報酬	336,886
販売報酬およびサービシング報酬	125,886
名義書換事務代行報酬	107,509
年次税	279,349
監査報酬	19,430
管理会社報酬	279,161
取締役報酬	14,787
保険費用	43,923
印刷費用	45,106
出版費用	5,740
税務報告報酬	82,041
支払代理人報酬	17,106
規制報告報酬	21,169
その他費用	70,487
	16,689,726
固定報酬のクラスにかかる追加投資顧問報酬	97,172
費用合計	16,786,898

(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年12月1日から2015年11月30日までのものです。

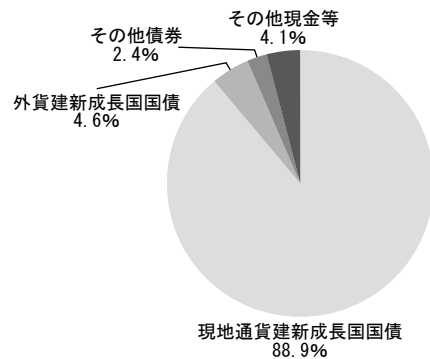
(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

○債券特性値

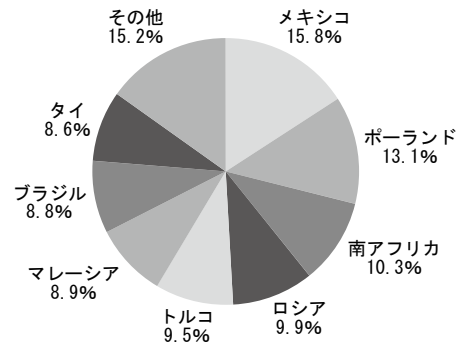
最終利回り : 7.91%

デュレーション : 4.57年

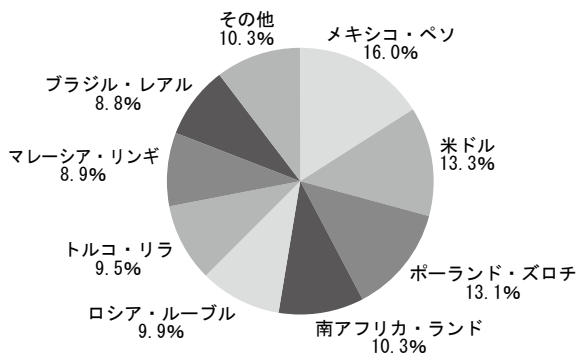
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 214銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	MEXICAN GOVT 4.75% 14 JUN 2018 144A	国債	メキシコ・ペソ	5.4%
2	THAI GOVT 3.65% 17 DEC 2021	国債	タイ・バーツ	4.3%
3	POLISH GOVT 5.75% 23 SEP 2022	国債	ポーランド・ズロチ	4.2%
4	POLISH GOVT 1.5% 25 APR 2020	国債	ポーランド・ズロチ	3.7%
5	COLOMBIAN GOVT 7% 04 MAY 2022	国債	コロンビア・ペソ	2.9%
6	POLISH GOVT 2% 25 APR 2021	国債	ポーランド・ズロチ	2.3%
7	MEXICAN GOVT 6.5% 09 JUN 2022 144A	国債	メキシコ・ペソ	2.3%
8	TURKISH GOVT 8.3% 20 JUN 2018	国債	トルコ・リラ	2.1%
9	BRAZILIAN GOVT 0% 01 JAN 2016 144A	国債	ブラジル・レアル	1.8%
10	TURKISH GOVT 8.5% 10 JUL 2019	国債	トルコ・リラ	1.7%

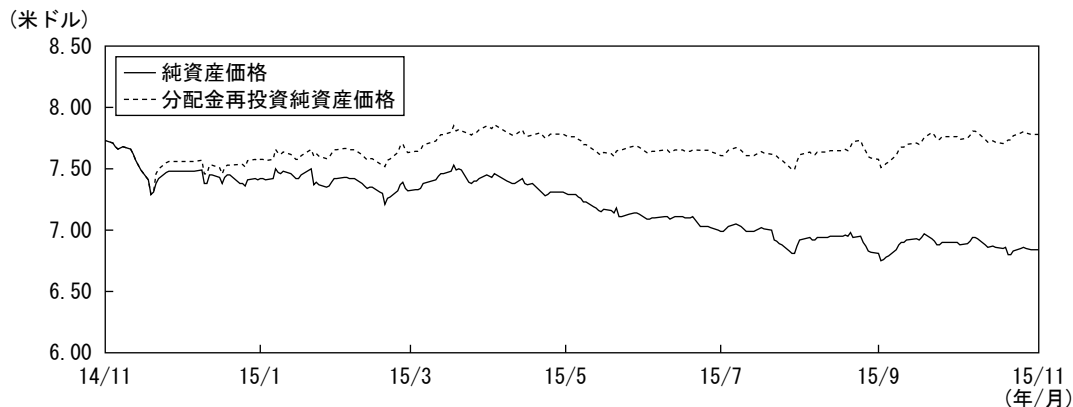
(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。

<ゴールドマン・サックス・エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ> (2015年11月30日現在)

*組入れファンドの決算は、年1回(毎年11月末)です。したがって、本報告書作成時点で入手可能な2015年11月30日時点までの状況をご報告申し上げます。

○純資産価格等の推移について(2014年12月1日～2015年11月30日)



(注1) 分配金再投資純資産価格は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資純資産価格は、2014年11月28日の純資産価格を起点として指数化しています。

○費用明細(単位:米ドル)

費用	
当座借越支払利息	382
スワップ契約にかかる支払利息	1,776,043
投資顧問報酬	36,812,340
保管費用	747,993
管理事務代行報酬	566,967
販売報酬およびサービシング報酬	1,092,184
名義書換事務代行報酬	285,285
年次税	1,056,579
監査報酬	19,430
管理会社報酬	934,436
取締役報酬	35,555
弁護士報酬	5,250
保険費用	38,790
印刷費用	84,022
出版費用	11,564
税務報告報酬	75,416
支払代理人報酬	23,594
規制報告報酬	26,401
その他費用	413,133
	44,005,364
投資顧問報酬調整額	(45,424)
固定報酬のクラスにかかる追加投資顧問報酬	1,848,179
費用合計	45,808,119

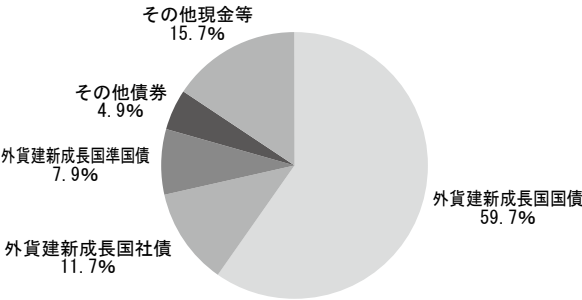
(注1) 費用明細は本報告書作成時点で入手可能な組入れファンドの2014年12月1日から2015年11月30日までのものです。

(注2) 費用明細は1万口当たりの情報の入手が困難であるため、当外国投資信託証券の全てのクラスにかかった金額を表示しております。

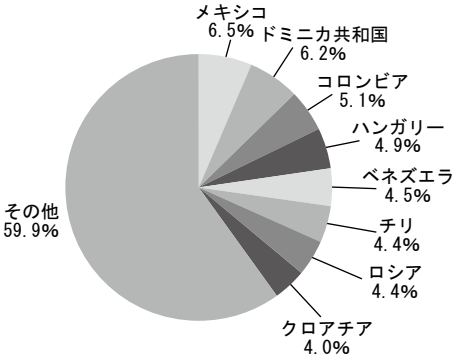
○債券特性値

最終利回り : 6.35%
デュレーション : 6.35年

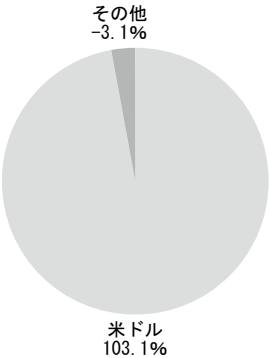
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



○組入上位10銘柄

(組入銘柄数 : 361銘柄)

	銘柄	種別	通貨	比率
1	DOMINICAN REPUBLIC GOVT 6.85% 27 JAN 2045 REGS	国債	米ドル	2.4%
2	MEXICAN GOVT 25 FEB 2016 144A	国債	メキシコ・ペソ	1.9%
3	COLOMBIAN GOVT 5% 15 JUN 2045	国債	米ドル	1.5%
4	DOMINICAN REPUBLIC GOVT 7.45% 30 APR 2044 REGS	国債	米ドル	1.4%
5	US GOVT 1.75% 30 SEP 2022	国債	米ドル	1.4%
6	SRI LANKAN GOVT 6.85% 03 NOV 2025 REGS	国債	米ドル	1.4%
7	MESTENIO LTD 8.5% 02 JAN 2020 REGS	国債	米ドル	1.3%
8	HUNGARIAN GOVT 5.75% 11 JUN 2018 REGS	国債	ユーロ	1.3%
9	KENYAN GOVT 6.875% 24 JUN 2024 REGS	国債	米ドル	1.2%
10	CROATIAN GOVT 3% 11 MAR 2025 REGS	国債	ユーロ	1.2%

(注) 上記の比率は全て組入れファンドの純資産総額に対する割合です。

*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。